



・西南学院大学・

図書館報

No. 55

1972年10月31日発行

福岡市西新6丁目

西南学院大学図書館

資料図書の発見と刊行

—— 高良記出版にあたって ——

図書館長 清 田 正 喜



わたしたちが何かを発表しようとする時には、まず対象となるものの資料を集め、それを調査研究してから纏めあげねばなりません。

そのためには図書館は非常に大きな役割を果たしています。図書館業務の基本はこの資料図書の収集と整理であり、それを研究者にどのように迅速に提供するかと、その便宜を図るのが奉仕であります。最近の出版の激増は汗牛充棟の比ではありません。毎月の図書・雑誌はあふれるばかりで、この夏に増築した大書庫も10年たらずで書架に満載になりそうです。ところが、こうした本の洪水のなかにあっても、まだまだわたしたちが研究を進めていくためには十分な資料があるとは言えません。量より質の問題です。それは隠れた資料が全国には数多く埋蔵されているからです。たとえば一枚の半びら紙にでも貴重なものがあります。近年、研究がだんだん細分化され、各時代の史料が発見されて重宝がられています。ましてやごっそりまとまった書類や写本が出たらそれこそ随喜の涙ものです。こうしたものはたいいてい神社や仏閣や地方旧家などの片隅に埋蔵されていたものが、研究者によって発見され、所有者の好意によって公刊されるのです。そして、この古記録や古写本に宿っていた生命が現代の空気にふれて新しく息吹きはじめます。わたしたちにとってはまことに有難い貴重な刊行であると感謝せずにはおれません。一例をあげれば、この秋の「高良玉垂宮神秘書」出版がそれです。高良大社が1570年祭

の記念事業の一つとし

て、今まで神秘書の名

のままに非公開であったものが、糸永宮司の英断によって公刊されました。高良大社は筑後国一の宮として、広く庶民に「高良さん」と親しまれ、かつ信仰されたお宮です。ここに伝わる資料こそ西日本古代の姿を知るうえには最も大切なものです。神秘書にはお宮の縁起や祭祀・修法・法儀を記してあり、中世祭祀組織研究には欠かせないものです。また祭りを中心とする民俗の記事や室町記の筑後国人層の動静など珍重すべきものがあります。さらに貴重なのはその紙背にある歌書と文書です。歌書はほぼ後醍醐天皇のころの成立といわれ、散逸した私撰集類や新資料の歌合類が含まれています。文書は中世期の神官やその関係者の田畠売券・ゆずり状・去状・和与状などの私文書12通で、地方経済研究には大切なものです。つまり神道学・国文学・国史学・民俗学・社会学や経済史学や建築史学などの多方面にわたった、まれに見る貴重な発見と言えるでしょう。

この公刊に終始従事された本学の山中耕作氏・久留米教育委員の古賀寿氏・熊本大学の荒木尚氏・九州大学の川添昭二氏のご努力は並々ならぬものがあつたと拝察します。これがいかに日本文化、とくに西南地区文化研究上に大きな役割を果たすかは、この資料を十分に活用することによっていっそう有意義なものとなるでしょう。

このような、いわば限定出版の刊行物に対しては、図書館人としては細心の注意を怠らず、広くその収集に心掛けてゆくことが、今後の一つの課題でもあります。また、こうした態度こそ研究者への心からなる奉仕でもあると思って努力してゆくつもりであります。

(文学部教授)



「相互貸借に用いるツール」

— 人文・社会科学を中心に — その1 欧文編

司書 今永 義純

近年の学問研究の急激な進歩は“情報の爆発”、“文献の洪水”といった現象をもたらし、その結果として、いかなる図書館、情報センターと言えども、それ一機関のみでは研究者の要求に応えるだけの蔵書を備え、必要なサービスを提供することができなくなりました。そこで不足なところをお互いに補い合う相互貸借、文献複写等図書館間の相互協力が必要となり、国会図書館、大学図書館の相互協力が積極的に推進されています。この相互貸借のサービスを可能にするためには、どの館がどんな資料を持っているかという文献の所蔵、書誌的事項を調べるための基本的ツールを備えておく必要があります。そうしないと文献複写を依頼される図書館においては、その館にはあるだろうという推測のもとに申込を受け、書誌的事項の不備とともに最も手数をわずらわされる。早い文献複写のサービスを望むなら、在庫の確認と書誌的データ者を完備して依頼するようにしたい。ここでは当館において相互貸借のために使用しているツールを挙げその内容について説明いたします。図書館ではこういう相互貸借のサービスを行なっていますのでご相談ください。

(1) 逐次刊行物

① 書誌的事項の調査ツール

- a. Ulrich's International Periodical Directory. 2vols. 14th ed. 1971—72, Annual
- b. Irregular Serials and Annuals International Directory. 1970, Annual
- c. Guide to current British Journals. 1970
- d. 丸善 紀伊国屋、極東等の書店のカatalog 1972

② 国内所蔵機関の調査

- a. 文部省大学学術局：学術雑誌総合目録 人文科学欧文編 1967年版
(国内の大学図書館、学部図書館、附属研究所など主な機関 253 の所蔵する逐次刊行物、約 25,000 種が収蔵されている。)
- b. 国立国会図書館：欧文逐次刊行物所蔵目録 1968 (1968 年 8 月現在)
(電子計算機により編さんされ、最初の冠詞を除いた誌名の ABC 順配列になっています。ただし、誌名中の冠詞、定冠詞は排列に含まれていますので、検索する時は、注意してください。)
- c. その他、個々の図書館の所蔵目録
当館と関係のある主要大学 (九大、福大 神戸大

等) の図書館、アメリカン・センター等の目録を日頃から心がけて集めています。

(九州大学継続受入逐次刊行物目録

欧文編 昭和45年版 補遺 昭和47年版)

(2) 単行本

雑誌に比べて件数は少ないのですが、単行本の相互利用があります。単行本に関しては所蔵調査のためのツールも少なく、書誌的事項の確認なども問題があります。

① 書誌的事項の調査ツール

- a. Cumulative Book Index. 1957—72
- b. Books in Print. 1969—71
- c. British Books in Print. 1970—71
- d. La Librairie Française. 4vols. 1956—65
- e. Le Catalogue de l'Édition Française. 4vols. 1970
- e. その他、大きな出版者のカクログを集めておきそれを使っています。

② 国内所蔵機関の調査ツール

- a. 国立国会図書館：新収洋書総合目録 1954—69
(全国主要大学図書館、国会図書館、日比谷、大阪府立図書館、49 館の洋書が収蔵されています。)
- b. その他、個々の図書館の所蔵目録

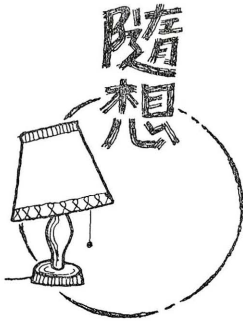
(3) 国外所蔵機関の調査ツール

- a. British Museum: General Catalogue of Printed Books to 1965. (当館所蔵)
- b. Union List of Serials in Libraries of United States and Canada. 3rd ed. Wilson, 1965 5vols.
(世界各国で刊行された雑誌の書誌的事項及び、米国、カナダの図書館の所蔵が記載されている。)(当館無)
- c. British Union—Catalogue of Periodicals. 1955—60 Butterworths
(英国内440の図書館が所蔵する 17C から今日までに刊行された雑誌が収録されている。)(当館無)

(4) 国連資料、政府出版物等の調査ツール

- a. 国連資料年鑑 1969
- b. U N Monthly Chronicle 1969—
- c. Catalog of UNESCO Publications
- d. US Government Publications Monthly Catalog 1969—72
- e. 国立国会図書館：国際連盟、国際連合刊行資料目録 (昭和46年 3 月)
- f. Catalogue, United Nations Publications. 1967—

その2の和文編は、次号に掲載いたします。



読書の秋によせて

添了麻煩

樋口進

先日9月25日、田中首相と周首相との第一回会談の後、北京人民大会堂で周首相主催の歓迎夕食会があり、その時の田中首相の挨拶の中に次のような一節があった。「過去数十年間にわたって日中関係は遺憾ながら不幸な経過をたどってまいりました。この間わが国が中国国民に多大な迷惑をおかけしたことについて私は改めて深い反省の念を表明するものであります」。新聞の報道によると、田中首相の挨拶の途中、それぞれ一節が終るたびに拍手があったが、このときだけは拍手が起らなかったという。その理由はどうか「ご迷惑をおかけした」という部分にあったようだ。日本の外務省の通訳はそこを「添了麻煩」(tiānlè máfán ティエンラ・マーファン)と訳したが、それが参会していた中国人に共感を呼ばなかったらしい。「麻煩」は「めんどう」「めいわく」で、「添了」で「かけた」、また「麻煩」だけで「手数をかける」「お世話になる」の意味にも使う。一般に日常軽い気持で使う言葉で、たとえば人にちょっとした物を持って行ってもらう場合、「すみませんが」「御面倒ですが」などの気持を表わすのに「給働添了麻煩」と言ったりする。参会していた中国人には田中首相の挨拶の文脈の中でこの部分がいかに軽いと思われたのであろう。日本の新聞でもこのことがとり上げられ、「表現があいまいだ」「いや、わび過ぎるのめかえっておかしい」などと論議を呼んだ。日本の外務省でも検討を重ねた上でこの「麻煩」を使ったのであろう。それにしても気の重い言葉であった。(文学部教授)

毛首席のニュースに

接して思うこと

古屋靖二

先月末中国を訪問した田中首相に毛沢東主席が『楚辭集註』6巻をプレゼントしたというニュースに接して、それがいかにも読書の秋にふさわしいニュースだと思った。しかも新聞の伝えるところによれば、毛首席の書斎の椅子は、まるで書籍にうずまるようにしてあり、毛主席はそれにふさわしく、「私は本を読みすぎたように思っています。それでも毎日のように本を読まなければ暮せなくなりました。」と語ったということだ。自分の恥をさらすようだが、いつももっぱらつん読に追われている私にとってこのニュースは、何にもまさる良薬であった。

例え本を買うお金には不自由せず、いかにりっぱな蔵書を誇ってみても、それを実際に利用し、読まなければ、まるで鍵をかけたままの高価なピアノと同じである。しかし私達の多くの人々にとって悩みの種は、実生活に追われ、本を読む時間を十分に持ちえないということであろう。従って私達としては、その限りある時間にいわば挑戦するわけだが、そのためには何よりもまず「良書」を選ぶなくてはならぬということになる。

私達は日常生活において常に何らかの読書をしているといえるだろう。しかし仕事(研究や調査)のための、いわば実用的読書や純然たる娯楽のための読書といったものを離れて、時には心の糧となり、思索の導き手となる本当の意味の読書に時間を充てたい。

「読書は人間のすることで、大変ぜいたくなことだ。」とある詩人がいっている。その意味では毛主席は大変ぜいたくな人といえるわけで、羨しい限りである。私達もこのぜいたくな楽しみを大いに享受したいものである。そしてそれができるのも、眼が開いているうちである。

(文学部助教授)

ダンテとアリストテレスの

『詩学』

末松 壽

ダンテは、ギリシヤ哲学とキリスト教との総合を或る形で実現していったスコラ学の終りを飾る類珍な詩人である。事実、彼の多岐にわたる著作を読む人は、そこにアリストテレスの多くの文獻が聖書と同じくしばしば引用され解説されることに驚くであろう。彼は、アキノのトマスの哲学の詩的な表現者であったとすら人はいう。

だが奇妙なことに、言語や文学に関する限り《哲学者》の思想はダンテのそれの中に全体的に反映しはしない。詩人によるジャンルの定義は、必ずしも《哲学者》のそれではない。文章(écriture)の解釈を論ずる時、ダンテはそこに聖書(Écriture)解釈方法(特に神学が確立した聖書の四つの意味)を適用する。その他、前者にはない観点が後者にはある。そういう独創的な場面においてすら彼は《哲学者》への忠実を願っているようだ。

この逆説はしかし、簡単な事情によって説明される。それはダンテが『詩学』を知らなかったという事実である。この書は西洋における芸術観の原初的典拠として、今日まで常に参照や論議的であったのではなく、古代においてもさ程は知れわたってはず、ローマ時代には既に忘却されていたという。これが西洋世界に紹介され威信を得るのは十五世紀の終りからである。従ってダンテはこれを絶対に読み得なかったのである。

だがこの事はまた別の逆説を教える。或る文明はそれが全体として所持しないものを、その内にある個人に与えはしない。にもかかわらず、否むしろそれ故に、文明が彼に与え得ないものを創造者は文明に与えてしまうこともあるのである。(文学部助教授)

司 書 長 小 言

さきほど終了した前期試験で学生諸君の図書館利用の実態をつぶさにみた。それは司書長に就任して間もない私にとって、むしろ異様な光景とさえ感じられた。——あの殺到ぶり。そして「おしゃべり」の連発。グループ雑談。指定場所以外での喫煙。おおよそ図書館にふさわしからぬ言語動作。それらを含めて館内に流れる一種の殺気だった緊張感のなかには、図書館本来のあるべき姿、のぞましい雰囲気はみられなかった。私はここで固苦しい礼儀作法を強要する意図はさらさらないが、図書館利用の基本的マナーは常識として身につけてほしい。また試験のために図書館を利用するばかりでなく、勉学場所として常時積極的に利用してほしい。(刀根淳)

< ニュース >

図書館委員会

47. 9. 27 1) 図書館の将来計画について
 ① 4階、5階の使用計画
 ② 国連寄託図書館
 ③ 書庫
 ④ その他
 2) 大学院学生の図書館利用について

司書会

47. 9. 8 1) 図書館の将来計画について
 2) 留学生別科届出冊数の提出について
 3) 九州産業労働研究所の図書寄贈について
 4) 事務電算化について
 47. 9. 14 1) 図書館の将来計画について
 47. 9. 27 1 九州産業労働科学研究所の図書寄贈について
 2) 留学生別科の手引書作成(日本とアジアに関する英文図書リスト)
 3) 図書館報No.55の発行について
 4) 図書館の将来計画について
 47. 9. 29 1) 図書館の将来計画について

研修 出張

47. 10. 20 私大図書館協会、九州地区研究会
 (於: 小倉) 今永司書、田中司書補出席

— 奉仕係より —

前期試験もやっと終り、ほっと一息ついておられることと思います。試験中は満員大盛況で、係では奮闘しましたが、なにしろ勉強不足で皆さんからの質問にも十分な答えもできずにまことに申しわけなく思っています。

いよいよ、芸術の秋、スポーツの秋、行楽の秋になり、各地でいろいろな催しが行なわれています。当大学

でも11月中旬に大学祭が開催されることになっていきます。図書館関係では「読書の秋」です。秋の夜長といまして、本を読む気候に最適なとき、日ごろ、本に親しまれていない方(教科書は別)でもこの秋を期に、本を読まれてみては、図書館には、いろいろな、日本、世界の文学全集の他に少年少女用の文学全集、幼児の童話まで用意して皆さんの来館を待っています。4年次生の皆さんは、卒論作成で苦しむ秋になっている方もおられるようです。4年間の大学学習の総しめくりに良く出来たと満足のいく、卒論を残されるように、図書館では微力ながら皆さんに協力をおしませません。わからないこと、質問等ありましたら、ご遠慮なく受付までどうぞ。

(田中)

告知板

○大学祭期間中の開、閉館時間

11月8日(水)より11月12日(日)までの大学祭期間中の開、閉館時間を下記のとおりとしますので、御承知ください。

11月8日(水)～11月10日(金) 9時～17時

11月11日(土) 9時～12時

なお、学習室は閉室します。

○卒業論文作成用特別貸出について

4年次生は卒業論文作成のための特別貸出をしています。通常の貸出のほかに、3冊以内、期限1ヶ月間、希望者は受付まで申してください。

○卒業論文の閲覧手続について

図書館に保管されている諸先輩の卒業論文を卒業論文の作成参考のため、ゼミ担当教授の承認をえて閲覧をすることができます。希望者は予め受付で用紙をもらってください。なお、館外貸出はできません。

○卒業論文製本代金について

卒業論文は製本のうえ、図書館に保存されることになっています。したがって、卒業論文の提出にあたっては、下記の製本代金を経理課に納入しなければなりません。

商学部、経済学部学生 1人 330円

文学部英文学科学生 1人 170円

あ と が き

若輩の小生らが、編集係として、一人立ちして日も浅いので、何号か前までは、レイアウト、写真の配置、カットにしろ、どちらかという、過去の模倣の継続だったのですが、今号に限り、少し考えたのですがそれが、おわかりいただければ幸甚であります。これを期にもっと図書館報を改善したいと思っていますので、何かアイデアがございましたら御一報ください。なお、掲載を心よく、ひきうけていただいた諸先生に感謝いたします。

(Y・M)

自 昭和47年6月 ～ 至 昭和47年9月

(敬 称 略)

吾郷健二助教授より

経済評論 1969年8～9月号

講座資本論の解明 第1～5分冊

資本論研究

地質調査所より

地質文献目録 1967

大電株式会社より

大電二十年史

第一勧業銀行調査部より

生活情報読本 2部

第一生命保険相互会社より

第一生命70年史

出口王仁三郎著作集講読をすすめる会より

出口王仁三郎著作集 第4巻

愛媛県企画部統計調査課より

行政資料目録 昭和47年

藤田工業株式会社より

未来をひらく藤田組と60年

福岡県より

福岡県長期ビジョン

福岡県中期計画

福岡県鉱工業生産指数 昭和46年 2部

福岡県民所得報告書 昭和45年度

福岡県統計年鑑 昭和45年

福岡県民生部青少年対策室より

青少年白書 昭和46年度

福岡市役所より

福岡市の行政区別人口

外務省より

国連情報 第3巻

ラテン・アメリカ経済統合情報 第43号

わが外交の近況 第16号

原田三喜雄教授より

日本の近代化と経済政策

北海道瓦斯株式会社より

北海道瓦斯55年史

法務図書館より

法律関係雑誌記事索引 第11号

自治大学校より

戦後自治史 12

自由民主党より

171日を終えて

神奈川県より

神奈川県民所得推計報告 昭和45年度

経済企画庁より

国民所得統計年報

近畿大学より

近畿大学研究業績総覧 昭和45年版

国立公文書館内閣文庫より

内閣文庫洋書分類目録 英書篇 上

国立国会図書館より

国立国会図書館児童図書目録 下巻

国立国会図書館蔵書目録 第3編 第2冊

国立国語研究所より

電子計算機による国語研究 4

電子計算機による新聞の語彙調査 3

国際電信電話株式会社より

ケーブル・アンド・ワイヤレス会社百年史

国税庁より

国税庁事務年報 第20回

熊本国税局より

熊本国税局統計書 昭和45年度

熊本商科大学産業経営研究所より

熊本市の経済像

京都府より

工業統計調査結果報告書

京都府治要覧 1971

京都府の市郡別所得

京都府商工施策利用の手引き

京都府統計書 昭和45年

京都外国語大学附属図書館より

洋書百選

九州経済調査協会より

九経調研究業績総索引

松坂屋株式会社より

新版 店史概要 松坂屋

三菱重工業株式会社より

三菱日本重工株式会社史

三菱造船株式会社史

新三菱重工業株式会社史

文部省史料館より

史料館所蔵史料目録 第19・20集
名古屋大学附属図書館高木家文書調査室より
高木家文書調査報告 1
念写協会より
現代の念写とその実験的証明
日興電機工業株式会社より
日興電機三十年史
日本万国博覧会記念協会より
未来のための思索 1970年
日本万国博覧会公式記録 第1～3巻
世界を支える無名の人々
日本電信電話公社経営調査室より
世界の電話
日本放送協会より
NHK放送文化研究年報 第17集 昭和47年版
日本証券業協会連合会より
日本証券業協会20年史
日本油脂工業会より
油脂工業史
農林省農業総合研究所九州支所より
九州における地域農業生産構造
大阪府立商工経済研究所より
西日本経済と大阪の役割
小零細工業と構造改善 その1～3
大阪産業大学図書館より
大阪産業大学所蔵雑誌目録
高田駒次郎助教授より
その心意気やよし 3部
龍谷大学より
龍谷大学要覧
成城大学より
国際投資法序説
成長・循環・開発の基本問題
成蹊大学より
成蹊大学大学院
成蹊大学法学部便覧 1972
線材製品協会より
線材製品協会二十年史
証券投資信託協会より
証券投資信託年報 昭和46年版 4部
食糧庁総務部調査課より
異動人口調査結果表 昭和46年度米穀年度

総理府統計局より
昭和44年事業所統計調査報告 第6巻
解説編
昭和45年度個人企業経済調査年報
鐵建建設株式会社より
鐵建建設株式会社二十年史
東京都私立短期大学協会より
私立短期大学紀要類論文題目索引 1971
都市資料調査会より
北九州市都市資料目録 1971
雄松堂書店より
西洋の書物
全国町村会より
全国町村会50年史
全国競輪施行者協議会より
全国競輪参考資料 昭和46年版

